

研究通信

No. 10

研究会
本部
東京大学
社会学部
村落学
研究

提案

今年の宿題も決定しました。いよいよ発足
第二年度の活動が、積極的には、はじめられな
ければならぬとさむかえてゐるといへま
しよう。このときにあたって、二つのことを
提案したいと思ひます。

その第一は、研究会のことです。すでに御
承知のことと思ひますが、東京在任の若い私
達は、四月以降毎週一回づつ、アメリカ農村
社会学の史的発展をたどり、主要な戦後の文
献を順次に読んでいくという勉強会をつづけ
てきています。発足以来一回もやらずにつ
づけておりますが、まだはじめてから日も淺
く、やっと戦前までのアメリカ農村社会学の
概略を述べた諸論文をひととおり読み、若尾
NagelbaldとOrenwitzの向題を中心
にすることに決め、これに因する戦後の二、三
の論文に手をつけだしたばかりです。この研
究会をつづけていくことには、仲々の薄暮が
あります。できるだけ多くのひとびとに参加
してきらいなく思つてはいますが、あらかじ

め「何曜日何時から何処で」ということを
決定することは、メンバーが必ずしも自由に
自分の時間をもちうるまでにいたつていない
ため、今のところ不可能に近い状態です。そ
のとき々に応じてすべまを決め、とにかく
一週一回は確實に実行していくことに

精一杯の努力をしております。近日中に、少く
とも曜日だけは決定して、胸心をもつ方々が
ひとりでも多く参加していただけるようにし
たいと念じています。出席してやろうという
方は、御連絡いただけられたら幸甚と思つていま
す。東大の塚本、松原に御一報のほどお願い
します。そして私達はこの勉強会を母胎にし
て、月に一回ぐらい、より大規模な研究会の
開催を計画しております。私達が教示をうけた
い方々を講師にしてお話をうけたまわるとい
う形のものであります。こうしていけば、東京では
小さな勉強会が基礎的な文献の講読を主にし
て毎週、大きな研究会が毎月、ひらかれるこ
とになるわけですね。三日坊主におわらさな
いように、私達は一生懸命にやってみよう
です。会員各位の御協力をひたすらお願いし
ます。そしてこうした研究会が各地区ごと
にひらかれるようになるための一石になりう
るならばと思つています。さらに、この研究通
信が、各地の研究会、勉強会の記事でうすま
るようになるならば、はじめて村研らしい村
研になるのではないかと願ひあつています。

次第には、まったくさ、やかではあります。私
達の勉強会のはかから住れたことを御報告
しようと思つております。御多用のこととは思
ひますが、私達の意図に対する御賛察と御善
導とを期待してあります。

第二は、村研の運営組織についてです。村
研は現在、本部事務を担当されてゐる東京教
育大学の研究室と宿題委員会、年報委員会、
研究通信委員会等があります。これらは、あ
らかじめつくられた組織ではなく、会をやっ
ていく必要上便宜的にもつた組織であつて
かなり自然発生的なもののように思ひます。
こうしたことが、いわゆる村研らしさかも知
れませんが、しかし村研も発足以来二年目でも
あり、仕事の分担をはっきりして、活発な重
きををうけていくために、現在の組織につ
いて考へる必要があるのではないでしようか。例
えば本部的事務を東京でつづけていかなけれ
ばならぬ理由はなく、各地を廻していくと
いう意見で今秋以後本部を移すこと、また各
種委員会を再編成するなりそのメンバーを交
えることなどでありましよう。私達はよりよ
り話しあつてゐることですが、秋に東京であ
ります今年の村研の大会では、こうしたこと
を充分に打合せ、とくに各種委員会の委員は、
原則としてその席上において公選することに
したらいと思ひます。会運営上の役員を公
選にして、もっともっと活発な全体的活動を

め「何曜日何時から何処で」ということを
決定することは、メンバーが必ずしも自由に
自分の時間をもちうるまでにいたつていない
ため、今のところ不可能に近い状態です。そ
のとき々に応じてすべまを決め、とにかく
一週一回は確實に実行していくことに
精一杯の努力をしております。近日中に、少く
とも曜日だけは決定して、胸心をもつ方々が
ひとりでも多く参加していただけるようにし
たいと念じています。出席してやろうという
方は、御連絡いただけられたら幸甚と思つていま
す。東大の塚本、松原に御一報のほどお願い
します。そして私達はこの勉強会を母胎にし
て、月に一回ぐらい、より大規模な研究会の
開催を計画しております。私達が教示をうけた
い方々を講師にしてお話をうけたまわるとい
う形のものであります。こうしていけば、東京では
小さな勉強会が基礎的な文献の講読を主にし
て毎週、大きな研究会が毎月、ひらかれるこ
とになるわけですね。三日坊主におわらさな
いように、私達は一生懸命にやってみよう
です。会員各位の御協力をひたすらお願いし
ます。そしてこうした研究会が各地区ごと
にひらかれるようになるための一石になりう
るならばと思つています。さらに、この研究通
信が、各地の研究会、勉強会の記事でうすま
るようになるならば、はじめて村研らしい村
研になるのではないかと願ひあつています。

期待すべき時期になつたのではないでしょう
か。こうした種類の問題についても、意見の
交換もしたいと思つています。

以上の二つのことは、提案にならない提案
になつてしまいましたが、意のあるところを
あくみいだげることとを結び御高見が通信委
員会にあつまる日を楽しみにしています。